

土 壌 カ ル テ

図-2

生産者様データ	
氏 名	前田 隆太郎 様
作 物	万願寺トウガラシ
地 区	綾部市有岡町志庭垣
地 質	細粒質グライ土
栽培形態	露地・水田・ <u>ハウス</u>

NO・	前田 万願寺 (ハウス①)
作成日	2024年12月4日

土壌入手日	2024年11月26日
分析日	12月2~4日

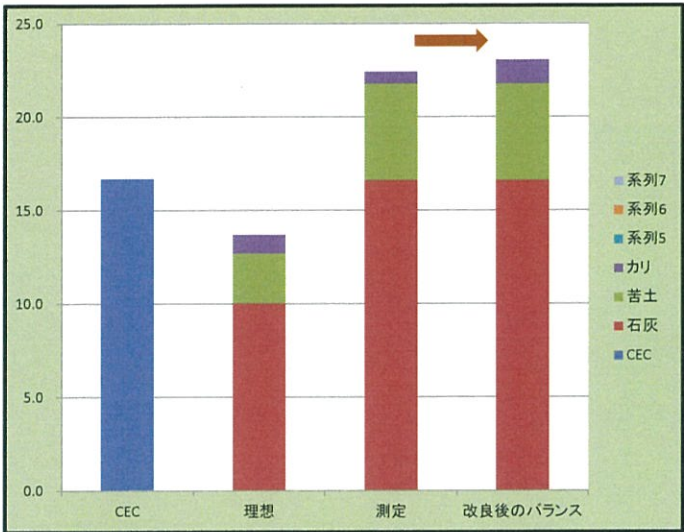


表-2 10a当りの投入kg	
Ca	0
Mg	0
K2	30

乾燥土100gあたり	単位	分析値	基準値	コメント	塩基me	基準値
pH (水)		6.2	6.0~6.5	標準		
EC	ms/cm	0.61	~0.3	高い		
CEC	me	16.7	20.0	標準 (土質上)		
可給態窒素	mg	8.0	5.0	標準		
アンモニア態窒素	mg	1.9	~5	無機態として10kg残留		
硝酸態窒素	mg	8.7				
有効態リン酸	mg	48.0	20~50	標準		
リン酸吸収係数		1042.5	1,000			
交換性石灰	mg	465.9	281.1	多い	16.6	10.0
交換性苦土	mg	103.8	53.9	多い	5.2	2.7
交換性カリ	mg	30.6	47.2	少ない	0.7	1.0
Ca飽和度	%	99.5	60.0			
Mg飽和度	%	30.8	16.0			
K飽和度	%	3.9	6.0			
Ca/Mg比		3.2	2.7~4.9			
Mg/K比		7.9	2.7~9.3			
塩基飽和度	%	134.2	82.0	高い		
ホウ素	mg/kg	0.6	0.8~2	標準		
マンガン	mg/kg	1.1	4~8	少ない		
鉄	%	3.4	0.8~	標準		
腐植	%	2.4	3~7	標準		
ケイ酸						

表-1	標準バランスをとった時の当量	過不足当量 (meq)	現状での投入量	CEC	飽和度	Ca飽和度	Mg飽和度	K飽和度
				9以下	100~170	80~150	16	6
Ca	10.02	-7	-185	10~19	80~100	60~80	16	6
Mg	2.67	-2	-50	20以上	75~80	50~60	16	6
K2	1.00	0	17					

CEC値の名飽和度の割合

測定値からみた理想値との差異(施肥前)

* 10aあたりのkg数(赤字は多く、黒字は不足)

承認	確認	担当
24.12.04 丸山		伊藤

株式会社オキ アルム農材事業部

コ メ ン ト (数値は10aあたりです)

pH・EC

pH(やや高め)、ECは標準内です

窒素・リン酸

無機態として約10kg残留しています。
リン酸は標準です。

塩基類

* 施用後の塩基飽和度 138%

塩基はCa、Mgがやや多い状態です。
塩基類はややバランスが崩れています。

表-1は施肥前のバランスを整える数値です。

土 壌 カ ル テ

図-2

生産者様データ	
氏 名	前田 隆太郎 様
作 物	万願寺トウガラシ
地 区	綾部市有岡町志庭垣
地 質	細粒質グライ土
栽培形態	露地・水田・ハウス

NO・	前田 万願寺 (ハウス②)
作成日	2024年12月4日

土壌入手日	2024年11月26日
分析日	12月2~4日

乾燥土100gあたり	単位	分析値	基準値	コメント	塩基me	基準値
pH (水)		6.5	6.0~6.5	標準		
EC	ms/cm	0.15	~0.3	標準		
CEC	me	16.9	20.0	標準 (土質上)		
可給態窒素	mg	8.1	5.0	標準		
アンモニア態窒素	mg	3.3	~5	過剰な残留はない		
硝酸態窒素	mg	0.6				
有効態リン酸	mg	29.0	20~50	標準		
リン酸吸収係数		1076.3	1,000			
交換性石灰	mg	414.1	285.0	多い	14.8	10.2
交換性苦土	mg	88.8	54.6	多い	4.4	2.7
交換性カリ	mg	30.7	47.9	少ない	0.7	1.0
Ca飽和度	%	87.2	60.0			
Mg飽和度	%	26.0	16.0			
K飽和度	%	3.9	6.0			
Ca/Mg比		3.4	2.7~4.9			
Mg/K比		6.8	2.7~9.3			
塩基飽和度	%	117.0	82.0	高い		
ホウ素	mg/kg	0.8	0.8~2	標準		
マンガン	mg/kg	1.7	4~8	少ない		
鉄	%	3.2	0.8~	標準		
腐植	%	2.1	3~7	標準		
ケイ酸						

表-1	標準バランスをとった時の当量	過不足当量 (meq)	現状での投入量	CEC	飽和度	Ca飽和度	Mg飽和度	K飽和度
				9以下	100~170	80~150	16	6
Ca	10.16	-5	-129	10~19	80~100	60~80	16	6
Mg	2.71	-2	-34	20以上	75~80	50~60	16	6
K2	1.02	0	17					

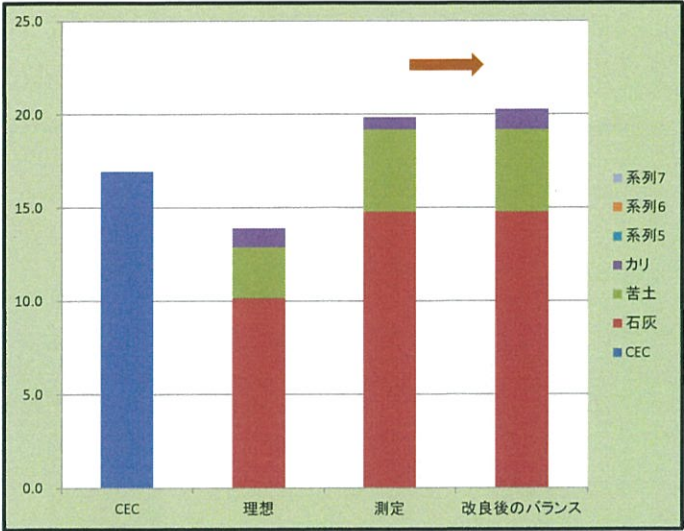
CEC値の名飽和度の割合

測定値からみた理想値との差異(施肥前)

* 10aあたりのkg数(赤字は多く、黒字は不足)

承認	確認	担当
241204		台岡

株式会社オキ アルム農材事業部



コ メ ン ト (数値は10aあたりです)

pH・EC
pH、ECは標準内です

窒素・リン酸
窒素は標準です。
リン酸は標準です。

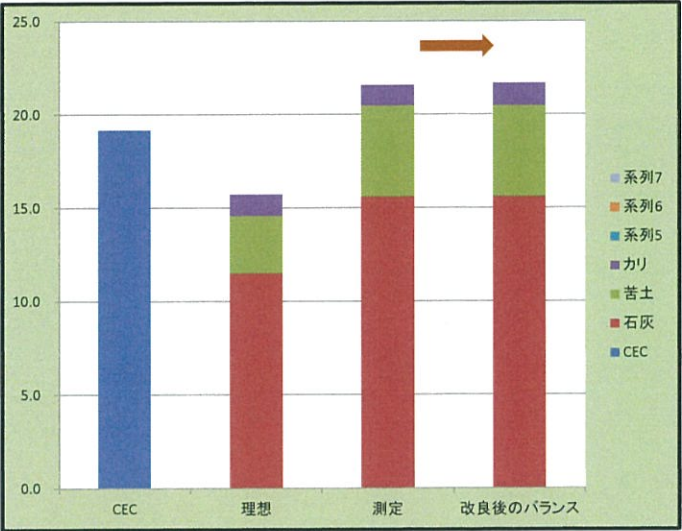
塩基類 * 施用後の塩基飽和度 120%
塩基はCa、Mgがやや多い状態です。
塩基類はややバランスが崩れています。

表-1は施肥前のバランスを整える数値です。

表-2 10a当りの投入kg	
Ca	0
Mg	0
K2	20

土 壌 力 ル テ

図-2



コ メ ン ト (数値は10aあたりです)

表-2 10a当りの投入kg	
Ca	0
Mg	0
K2	5

生 産 者 様 データ	
氏 名	前田 隆太郎 様
作 物	万願寺トウガラシ
地 区	綾部市有岡町志庭垣
地 質	細粒質グライ土
栽 培 形 態	露地・水田・ハウス

NO・	前田 万願寺 (ハウス⑤)
作成日	2024年12月4日

土壌入手日	2024年11月26日
分 析 日	12月2~4日

乾燥土100gあたり	単位	分析値	基準値	コメント	塩基me	基準値
pH (水)		6.4	6.0~6.5	標準		
EC	ms/cm	0.24	~0.3	標準		
CEC	me	19.2	20.0	標準 (土質上)		
可給態窒素	mg	7.8	5.0	標準		
アンモニア態窒素	mg	2.8	~5	過剰な残留はない		
硝酸態窒素	mg	3.7				
有効態リン酸	mg	18.0	20~50	標準		
リン酸吸収係数		1263.8	1,000			
交換性石灰	mg	437.6	322.6	多い	15.6	11.5
交換性苦土	mg	98.0	61.8	多い	4.9	3.1
交換性カリ	mg	51.2	54.2	標準	1.1	1.2
Ca飽和度	%	81.4	60.0			
Mg飽和度	%	25.4	16.0			
K飽和度	%	5.7	6.0			
Ca/Mg比		3.2	2.7~4.5			
Mg/K比		4.5	2.6~8.7			
塩基飽和度	%	112.4	82.0	高い		
ホウ素	mg/kg	0.7	0.8~2	標準		
マンガン	mg/kg	3.0	4~8	少ない		
鉄	%	4.4	0.8~	標準		
腐植	%	2.2	3~7	標準		
ケイ酸						

表-1	標準/バランスをとった時の当量	過不足当量 (meq)	現状での投入量	CEC	飽和度	Ca飽和度	Mg飽和度	K飽和度
				9以下	100~170	80~150	16	6
Ca	11.51	-4	-115	10~19	80~100	60~80	16	6
Mg	3.07	-2	-36	20以上	75~80	50~60	16	6
K2	1.15	0	3					

CEC値の名飽和度の割合

測定値からみた理想値との差異(施肥前)

* 10aあたりのkg数(赤字は多く、黒字は不足)

承認	確認	担当
241204 文山		白岡

株式会社オキ アルム農材事業部

pH・EC
pH、ECは標準内です

窒素・リン酸
窒素は標準です。
リン酸は標準です。

塩基類 * 施用後の塩基飽和度 113%
塩基はCa、Mgがやや多い状態です。
塩基類はややバランスが崩れています。

表-1は施肥前のバランスを整える数値です。

土 壌 カ ル テ

生産者様データ	
氏 名	前田 隆太郎 様
作 物	えびいも
地 区	綾部市有岡町志庭垣
地 質	細粒質グライ土
栽培形態	露地 水田・ハウス

NO・	前田 万願寺(えびいも)
作成日	2024年12月4日
土壌入手日	2024年11月26日
分析日	12月2～4日

乾燥土100gあたり	単位	分析値	基準値	コメント	塩基me	基準値
pH (水)		6.3	6.0～6.5	標準		
EC	ms/cm	0.06	～0.3	標準		
CEC	me	18.6	20.0	標準(土質上)		
可給態窒素	mg	10.6	5.0	標準		
アンモニア態窒素	mg	2.2	～5	過剰な残留はない		
硝酸態窒素	mg	0.4				
有効態リン酸	mg	9.0	20～50	少ない		
リン酸吸収係数		1433.8	1,000			
交換性石灰	mg	397.6	312.7	やや多い	14.2	11.2
交換性苦土	mg	113.7	59.9	多い	5.6	3.0
交換性カリ	mg	37.5	52.5	やや少ない	0.8	1.1
Ca飽和度	%	76.3	60.0			
Mg飽和度	%	30.3	16.0			
K飽和度	%	4.3	6.0			
Ca/Mg比		2.5	2.7～4.5			
Mg/K比		7.1	2.6～8.7			
塩基飽和度	%	110.9	82.0	高い		
ホウ素	mg/kg	0.9	0.8～2	標準		
マンガン	mg/kg	5.0	4～8	標準		
鉄	%	4.3	0.8～	標準		
腐植	%	2.2	3～7	標準		
ケイ酸						

表-1	標準バランスをとった時の当量	過不足当量 (meq)	現状での投入量	CEC	飽和度	Ca飽和度	Mg飽和度	K飽和度
				9以下	100～170	80～150	16	6
Ca	11.15	-3	-85	10～19	80～100	60～80	16	6
Mg	2.97	-3	-54	20以上	75～80	50～60	16	6
K2	1.12	0	15					

測定値からみた理想値との差異(施肥前)

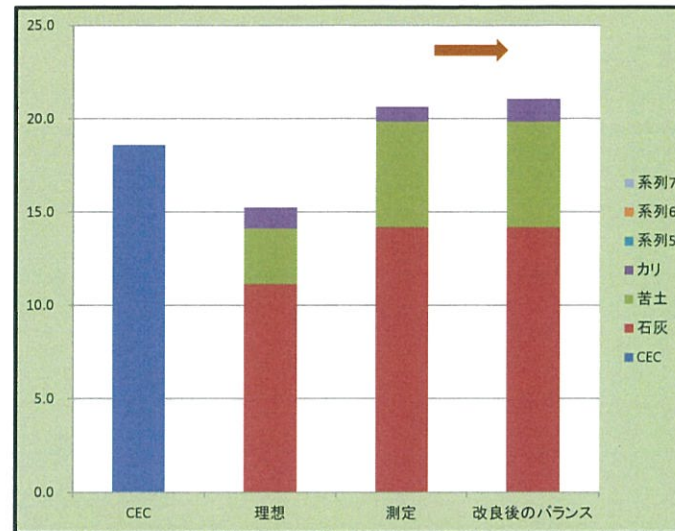
* 10aあたりのkg数(赤字は多く、黒字は不足)

CEC値の名飽和度の割合

承認	確認	担当
2420		

株式会社オキ アルム農材事業部

図-2



コ メ ン ト (数値は10aあたりです)

pH・EC

pH、ECは標準内です

窒素・リン酸

窒素は標準です。
リン酸はやや少ない状態です。

塩基類

* 施用後の塩基飽和度

113%

塩基はMgがやや多い状態です。
塩基類はややバランスが崩れています。

表は施肥前のバランスを整える数値です。